

小学1年 国語「としょかんへいこう」

ねらい

読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。

学習展開（2時間）

- ① 学校たんけんで学校図書館に行く。
- ② 学校図書館で、できることを知る。
- ③ 学校図書館の決まりについて考える。
- ④ 学校図書館の決まりを守って自分で好きな本を選んで借りる。

指導のポイント

- ・前单元「おはなしききたいな」で、児童は読み聞かせをしてもらう体験をしている。本に対する興味関心を高めておく。
- ・学校たんけんで、小学校には、大きくてたくさん本がある図書館があることを知る。
- ・図書館で本を読んだり借りたりできることを、経験から知っている児童が多い。学校図書館では、どのようなことができるのか期待を持たせて、司書の話を聞けるようにする。
- ・司書によるプレゼンテーションでは、クイズなどを織り交ぜながら、図書館の決まりや、なぜそのような決まりがあるのかについて児童に考えさせるようにする。
- ・学校図書館の決まりを知り、決まりを守りながら、実際に好きな本を選んで本を借りる。
- ・教室でも、学校図書館にある人気シリーズの絵本を読み聞かせて紹介して、シリーズの他の本も読んでみたいという意欲を高める。



学校図書館との関わり

- ・学校図書館の決まりについて、クイズなどを織り交ぜてわかりやすくプレゼンテーションをしてもらう。
- ・借り方の決まりだけでなく、本を大切に扱うこと、図書館では大きな声を出さないことなど、一般的なマナーについても指導をする。
- ・教室でも、絵本バッグに常に本を入れておき、隙間時間に自分で読んだり、読み聞かせをしたりするなどして、日頃から読書に親しませ、学校図書館の利用促進につなげるようにする。